

## 谷口新会長挨拶



ただいまご紹介にあずかりました竹中工務店の谷口でございます。このたび、当協会の会長職を2年間あずからせていただく事になりました。いろいろ不慣れな点もたくさんあるかと思えますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

当協会は平成11年に発足いたしまして、来年で15周年を向かえることとなります。

先月、当協会の法人として先輩格にあたります建材試験センターの50周年記念パーティーに出席したのですが、その時に評議員の東大名誉教授であります菅原先生が、建築技術に根ざす法人が継続して発展していくためには、3つの条件があるとおっしゃっておられまして、非常に参考になりましたのでこの場でご紹介させていただきたいと思えます。

3つの条件でございますけれど、ひとつは技術レベルの高さということです。法人自体が研究開発するわけではございませんけれど、いろいろな国や民間の研究機関が行った技術を高いレベルで集約して情報発信していく、それが当協会においても全くそのとおり当てはまる事ではないかと思えます。

それから2番目として挙げられていたのが、全体俯瞰性です。いろいろな技術がありますけれどその技術の関連性ですとか位置付け、そういったものを高いところから見っていくということが大事とおっしゃられています。我々繊維補修補強協会におきましては、どちらかという非常に限定された分野ではありますけど、耐震補強という分野のなかで繊維補修補強の技術がどういうふうな位置付けであるか、どういうふうに変化していくか、ということが今後我々として十分把握しておくことが必要ではないかと思えます。

3番目に大事なことがコミュニケーションである、というふうにおっしゃっておられました。法人の中の会員の皆様同士のコミュニケーション、それからその法人と社会一般の方々のコミュニケーションが大事であると言われておりまして、これも我々の協会としても全くその通りであると思えます。

こうした3点を頭の中に置きながら、運営のほうをやっていきたいと思っています。

いずれにいたしましても、日本のような地震国におきましては、今後大きな地震がくるのはほぼ100%間違いないことと思っております。そうした中で、当協会のミッションであります健全な技術の普及と、品質の確保それから技術レベルの向上ということを目指して、

微力ではございますけれども頑張ってお参りたいと思えますのでよろしくお願い致します。